

せん

のぞみ

千と希の 設計図

Thousand and Dream Design

2022年
1月号

色弱者、
高齢者向けの
色使いを考える！

全問正解
ならずも…

色彩検定UC級 合格！



千と希の
設計図

2022年

1月号

株式会社サウザンドデザイン
東京都江東区永代1-9-2 KS-3ビル1F / 2F

2F

デザインに関するお問い合わせ・お見積もりはいますぐ！
<https://www.thousanddesigns.com>

江東区デザイン会社

03-5809-8024 (10:00~18:45)
0120-095-905 (フリーダイヤル)

Eメールでも受付中！
info@thousanddesigns.com

11月に行われた色彩検定は、滞りなく終了しました。今回は社長の受けたUC級の内容から、色について少し考えていきたいと思います。「年齢や能力、状況などにかかわらず、できるだけ多くの人が使いやすいように、製品や建物・環境をデザインする」ことを「ユニバーサルデザイン」と言います。アメリカのロナルド・メイヌ博士という方が提唱しました。彼は自身が車椅子生活だったことから、「後付けでなく、最初から」使いやすいものをデザインする、という「リアフリー」に変わる新しい考え方を世の中に広めたのです。

今回勉強したUC級のUCとはユニバーサルカラーのことで、高齢者や視覚異常のある人にとってもわかりやすい色の配色を学ぶという内容でした。

**かつて「色盲」呼ばれた
色覚異常(※)**

目の奥の網膜に光の波長を感知する3種類の細胞があります。それぞれ波長の長、中、短を識別することができるのですが、そのうちのひとつが機能しない状態を色覚異常と呼びます。色は様々な光の波長の組み合わせで表現されるので、バランスが崩れてしまうということです。いい例えかわかりませんが、プリンターの「色」だけがなくなった状態で印刷した時のようなイメージです。これは遺伝によるもので、男女ともその因子はもっているのですが、実際に色覚異常が発現するのは男性に大きく偏っています。

※「盲」という言葉に差別的な意味合いが含まれることもあり、実際に色覚異常の方は色が見えない(モノクロに見える)わけではなく、特定の色の判別が難しく、ほとんどの色の差異は認知できるので、言葉のものが当てはまっていなことから最近では「色覚異常」が多いようです。

デザイン事務所がひらく 絵画教室 だより

12月の課題 「クリスマスツリーライト」

「12月といえば?」と問いただければほとんどの人が口を揃えて答えるであろう一大イベント「クリスマス」。今回は、お家を彩るのにピッタリなツリー型の卓上ライトを作成しました。中から光が漏れるようカッターを使って細かな穴を空けていく作業には、みんな大苦戦。しかし一生懸命刃物の扱い方も練習し、完成後部屋の電気を消してライトアップした際は、「わあ〜綺麗!!」という達成感で溢れた声が教室中に響き渡りました。

サンタさんの
とんがり帽子が
ぶつくり立体的!!

ツリーを彩る
オーナメントの
全てがカラフル♡

サンタにリース、
ジンジャーマン、
細やかに描けてます

ツリーの周りに
巻かれた毛糸が
くるくる&もくもく!

大きく描かれた
トナカイの横顔が
キュートです…!!

てっぺんで輝く
にっこり大きな
お星さま★

ご予約は
公式webサイトから!

facebook更新中!!
www.facebook.com/1000kyoshitsu/

江東区の絵画教室

カタログ、チラシ、DM、WEB、会社案内等の制作はサウザンドデザインにお任せください。

創業12年、「長持ちするデザイン」の制作に励んでいます。

株式会社サウザンドデザイン

THOUSAND DESIGNS

チラシ DM カタログ WEB 情報誌

お問合せ
お見積もり
はこちら

0120-095-905
(月~土 10:00-18:45)

〒135-0034
東京都江東区永代1-9-2 KS-3ビル2F
株式会社サウザンドデザイン まで

Eメールは
こちらから

会社HP

江東区 デザイン会社

お客様のご予算に応じて、
手抜きをしない最適解をご提案いたします。
また、デザイナーが教える絵画教室や
地域観光サイトも運営中。

江東区で
人気No.1!

デザイン事務所がひらく「やさしい絵画教室」
designroom.me

永代を楽しむサイト
「えいたいみたい」
eitai.tokyo

夜開いている証明写真店
「ヨルビー」
yoru-p.tokyo

できごと 最近の ぽろぽろ



「えいたいみたい」にて、出張取材(会社から徒歩5分)に行きまして!!撮影中の社長とスタッフをバシャリ。インタビュー内容は、えいたいみたい公式HPで掲載中です。千と希来月号では、特別裏話をご紹介します♪



先月から始まった節電チャレンジですが、早くも効果あり。なんと電気代がマイナス8,000円になりました!!照明をこまめに消したり、お湯を節水したり。全員の努力の結果です!!



12月の課題で使用したライトの電池入れは、ひとつひとつが手作業。少々コツの要る固い蓋も、工具を使ってパカッ!! 20秒/1個という、工場のコンベアスタッフにも負けない息びったりな手際の良さで、約50個のライトを捌き切りました。



某日、サンタの如く大きな箱を担いで現れた太田垣社長。なんだなんだと開封すると、中にはこんなに立派なクリスマスツリーが…!!聞くと、社長はクリスマスが大好きなのだとか。イブと当日も、業務の傍らみんなでお菓子をつまんだり、年に一度のイベントを楽しむ光景が見られました。



■スタッフの声■ 2022年も間違い探し仕様の年賀状になりました!間違えは全部で7つです!昨年より難易度が上がっている…かもしれません。ぜひ挑戦してみてください。(佐久間)

小さな文字には不向きですので、私たちが使用する際には多少気を使います。しかし、歳を重ねるとそれだけではありません。明るさの違いを読み取る能力が低下するのです。背景が暗かったり、写真があると、その上に配置した文字が読みづらくなるのです。下図(図2)をご覧ください。左の方が読みやすい、と思った方はすでに高齢者です!…というのはいきなり過ぎだとしても(若年者の選択が逆になることはない)、この読みづらさのストレスが、デザインにおいて読んでもらえるかどうかの大きな分岐点となります。また、これは紙面のデザインでは当てはまりませんが、加齢によって明順応・暗順応のスピードが極端に遅くなります。動画などで目立たせたいものを光らせても「眩しいだけ」になり、効果的に内容が伝わらない、ということですね。

図2



図2では左の方が読み易くても、右の方が美しいと言えます。このバランスをいかに高度に考えて決めていくかが、これからのデザイナーに求められるスキルの一つではないかと思えます。

私たちがデザインするものの目的や用途を考慮して適切な色を選ばなくてはなりません。特にサウザンドデザインでは、しっかりと文字組と視認性の良い配色で今までも多くのお客様に好評を頂いてきました。社会の高齢化・ダイバーシティ化が進むに当たり、今以上に色に配慮したデザインが求められます。難しいのは学んだことを杓子定規

見やすいデザインと美しいデザイン



よく高齢者対策として「文字を大きくする」というものがあります。新聞の文字も2008年に変更が加えられ、今の大きさになっています。特に明朝体は横棒が細いため、

背景が濃いと見えない、明るすぎても眩しい

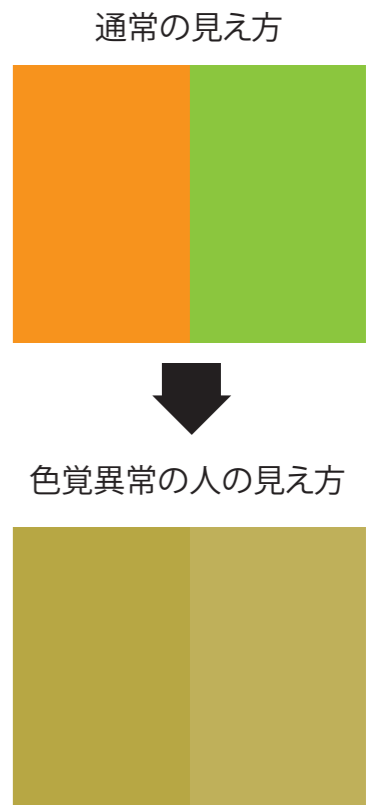
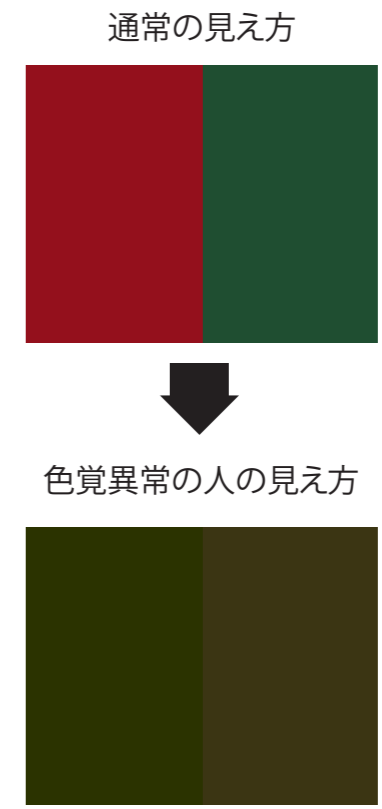
色覚異常は全体の50%ですが、加齢は100%です。よく聞く白内障という病気も、70歳では90%の人が罹患するというデータがあります。手足と同様、水晶体や網膜が弱ってくるため、自然なことではありますが、当然色についての見え方も変わってきます。特に注意すべきは黄色と白で、みなさんはごまかで視認できるでしょうか?

恐るべし加齢、目の衰え

色覚異常と言っても色々型があるので一概には言えませんが、以下(図1)のような色の組み合わせの判別が難しいようです。違った色なのに同化してしまうので、この組み合わせで重要な情報を表現することはよろしくありません。色覚異常は男性に発現する確率が高いため、わたし(太田垣)の子供の時はそれを疑われました。叔父が色覚異常だったためですが、叔父の仕事はグラフィックデザイナーでした(笑)。

色覚異常の人が判別しづらい色

図1



永代の街のレア情報をぎゅー集録。このオリジナルMAP&ガイドが見られるのは「えいたいみたい」だけ!! こちらのQRコードから♪



弊社のスタッフが長い時間と愛情をたっぷりとかけて…ついに完成しました! オリジナルMAP&ガイド! 永代の街を実際に歩きながら作成した地図は、ポップで可愛いイラストが満載。スタッフ達みんなでエリアを分担し、なんと手描きで仕上げました。ガイドは「ごはん編」「神社編」「体験・お店編」「スポット編」の4種類を作成。誰もが知る有名どころはもちろん、知る人ぞ知る穴場や、地元の人すら知らない(?)隠れスポットまでたっぷりご紹介。門前仲町駅からの散策ルートも掲載されており、見たら永代に足を運びたくなる事間違い無しです。現在は、えいたいみたい公式HPと、弊社1階のご自由にラックにて配布しております。是非見てみてください。もしかしら、今後も新たな永代情報が追加されていくかも…!?

『えいたいみたい』オリジナルMAP&ガイド できました!

